

東京電力ホールディングス(株)福島第一原子力発電所
2021年度 パフォーマンス向上会議情報(2021年7月12日(月)分)

◆不適合とは、本来あるべき状態とは異なる状態、もしくは本来行うべき行為(判断)とは異なる行為(判断)を言います。法律等で報告が義務づけられているトラブルから、発電所の通常の点検で見つかる計器や照明の故障など、広い範囲の不具合が対象になります。

2021年7月12日のパフォーマンス向上会議で審議された不適合は、下記のとおりです。

番号	不適合内容	グレード	発見日
1	<p>【5号機タービン・発電機系の警報装置の不具合について】</p> <p>当直員が、5号機中央制御室において「タービン・発電機系警報電源喪失」警報が発生し、タービン・発電機系の警報表示が一部消灯する不具合を確認。</p> <p>警報ユニットにて、ヒューズ切れなしを確認。</p> <p>監視が必要な警報(開閉所関連2箇所)について、ケーブルの入れ替えを実施し復旧済み。</p> <p>それ以外の警報については、停止中機器のため問題なし。</p> <p>今後、当該警報装置を取替予定。</p>	GⅢ	7月6日
2	<p>【既設多核種除去設備(C)共沈タンクpH計サンプルポンプ吸込ラインの配管溶接部の滲みについて】</p> <p>協力企業作業員が、既設多核種除去設備(C)共沈タンクpH計校正時に、当該スキッド内床面に水溜りを発見。</p> <p>水溜り上部を確認したところ、共沈タンクpH計サンプルポンプ吸込ラインの配管溶接部に滲みを確認。</p> <p>当該ラインの隔離、および、漏えい箇所の袋養生、水溜りの処理を実施済み。</p> <p>pH測定については、当該サンプルラインが使用出来なくとも、後段側にて手分析を行っているため問題なし。</p> <p>今後、当該部を交換予定。</p>	GⅢ	7月7日
3	<p>【5・6号機滞留水処理設備のI6タンクフランジ接合部からの漏えいについて】</p> <p>協力企業作業員が、5・6号機滞留水処理設備FタンクエリアのI7タンク止水修理後のリークチェックにおいて、I7タンクとI6タンクを同時に水張りしていた際、I6タンク本体の1段目フランジ接合部に水が滲んでいることを確認。</p> <p>応急対応として、I7タンクとI6タンクの水位を下げ、止水材による修理を実施済み。</p> <p>恒久対策として、溶接型タンクへの取替の必要性も含めて検討中。</p>	GⅢ	6月18日